

だいじな、からだのために プレコンセプションケアに 取り組んでみませんか？

女性のからだは年齢によって大きく変化していきます。
現在妊娠を考えている人も、そうでない人も、
ご自身の健康や将来の生活を考える
きっかけづくりをしてみませんか？

「プレコンセプションケア」とは、妊娠（コンセプション）の計画の有無に関わらず、早い段階から妊娠・出産の知識を持ち、自分の身体への健康意識を高めることです。WHO（世界保健機関）や国も、プレコンセプションケアを広める活動をしています。

福岡市では、その取り組みの一つとして、検査費用の一部を助成します。クーポンを利用して医療機関で血液検査を受け、その検査結果とともに、健康づくりに関するアドバイスを受けることができます。



検査費用／**500円**

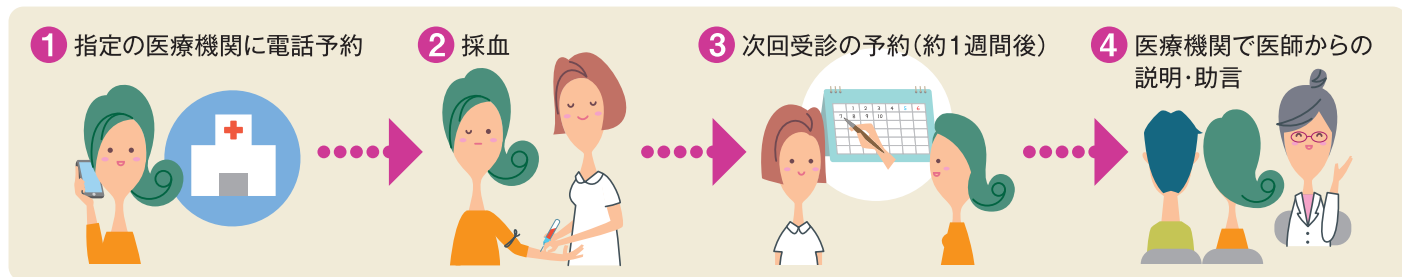
- クーポン有効期限
令和3年7月1日～令和4年3月31日まで
- クーポン対象の方
平成3年4月2日～平成4年4月1日生まれの女性

■ 検査について（血液検査）

AMH（抗ミュラー管ホルモン※1）を調べることで、卵巢予備能※2の目安を知ることができますと考えられています。

※1 AMH（抗ミュラー管ホルモン）…発育過程にある卵胞から分泌されるホルモン ※2 卵巢予備能…卵巢に残っている卵子の目安

■ 検査～説明・助言の流れ



福岡市内の産婦人科等の医療機関で検査を受けることができます。

詳しくは別紙「実施医療機関について」を参照してください。



&



Q1 どのようなアドバイスを受けることができますか。

A

専門の医師から検査結果とあわせて、健康づくり、生活習慣、女性特有の症状を含む、健康への配慮などアドバイスを受けることができます。パートナーの方と一緒に聞くこともできます。

今後の健康や将来の生活を考えるうえで、ご自身の体の状態を知り、健康な生活習慣を身につけるきっかけにさせていただきたいと考えています。

Q2 どのような検査を行い、その結果何がわかりますか。

A

血液検査でAMHという値を調べます。

AMHとは抗ミュラー管ホルモンのことで、卵巣内の卵子の数の目安（卵巣予備能）がわかります。卵巣に残っている卵子の数は個人差があります。

Q3 検査のタイミングによって測定値は変わりますか。

A

AMHは他のホルモン検査と違い、月経周期による影響が小さいとされており、いつ測ってもよい検査です。

Q4 なぜ30歳を対象にしているのですか。

A

AMHは個人によりばらつきがあるため、年齢に応じた基準値があるわけではありませんが、年齢とともに減少していきます。その減少の傾向が30歳代以降で表れてくることから、30歳を対象としています。

Q5 必ず受けないといけないのですか。

A

この事業では、医師から検査結果とともに、女性の健康管理に役立つアドバイスを受けることができます。検査は希望制で、必ず受けないといけない検査ではありませんが、健康や将来の生活を考えるきっかけ作りに役立てていただければと思います。

AMHの検査を受けた方の声

(30代女性)

もともと生理不順だったのですが、AMHがすごく高くて、多嚢胞性卵巣症候群だとわかりました。そのままにしておくと子宮体がんにもなりやすいと聞き、きちんと生理が来るのが大切だと気づきました。治療を受け、最近は周期が整って、調子が良いです。

(40代女性)

結婚してもなかなか妊娠せず、専門のクリニックで受けた検査がAMHでした。AMHが想像以上に低くて、不妊治療を受けることにしました。こんな検査があるなんて知らず、もっと早く受けたかったと思います。

(30代女性)

そろそろ結婚を考えていた時、AMH検査を受けて意外と低くてびっくりしました。しばらく2人だけの生活を楽しまたいと考え、妊娠はまだ先と思っていたのですが、いつ頃妊娠したいかをまじめに考えるきっかけになりました。